

提出日： 2025 年 6 月 27 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
戦略経営	教授	露木恵美子

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。	
	1. 2024年4月 1日 ～ 2025年3月31日	4
	2. 2024年9月 1日 ～ 2025年8月31日	
	3. 2024年4月 1日 ～ 2024年9月20日	
	4. 2024年9月21日 ～ 2025年3月31日	
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。	
	概要: 研究促進期間の一環として、オランダ(エラスムス大学ロッテルダム・スクール・オブ・マネジメント)の客員教授として在籍し、オランダ・スペインなどにおける新しい組織の在り方(自律分散経営および自主経営、組織変革)およびアムステルダム地域のアーティストのネットワークについての研究(現地訪問・面接調査)ならびに研究啓発活動として「場」のワークショップなどの開催を行った。	
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。	
	研究成果(1)オランダ・アムステルダム地域におけるアーティストネットワークの研究 古くから貿易で栄えたオランダは、インドネシアやスリナムなどアジアやアフリカとのつながりも深く、特にアムステルダムは、多様な人種・民族が居住するダイバーシティあふれる地域である。その中でもアムステルダム地域を対象に、多様なバックグラウンドをもったアーティストの活動とネットワークに関する調査研究を行った。具体的には、アムステルダム在住の日本人アーティスト渡辺睦子氏、ロイドホテルを手掛けた著名なアートディレクターのスザンヌ・オクセナー氏の協力を得て、アムステルダム在住のアーティストのべ8名にインタビューを行った。さらに、アーティストが居住するスタジオビルへの訪問や場のワークショップの開催などを行った。 研究成果(2)新しい組織の在り方研究 20 世紀以降、多くの企業が職場やビジネスプロセスの管理のために、官僚制組織(ビュロクラシー)をとってきた。一方で、管理者(という役割)を明確におかない自律分散型組織を模索する企業があった。近年の民主的な経営のあり方を模索するなかで、まだ少数ではあるが、管理者をおかない自主経営(自律分散型経営の一形態)を模索する企業が欧州でも増えてきた。今回の調査は、自主経営を推進する企業をネットワークしているオランダのコーポレートレーベル社の協力の下、自主経営を実践している企業を4社訪問・調査した(オランダ2社、スペイン2社)。それぞれの業種業態によって、自主経営のあり方は異なるものの、それぞれが模索を続けながら自主経営を根づかせていることが明らかになった。また、現地を訪問しての「場のワークショップ」は、多くの参加者	

	に指示され、企業における「場」の在り方に興味をもつ人々が多く存在すること、さらに「場」という概念が海外における自主経営を推進する上で重要なキーワードになる可能性があることがわかった。
今後の 計画に ついて	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。
	(1) オランダ・アムステルダム地域におけるアーティストネットワークの研究については、2025 年度も継続調査を実施する。オンラインにおいて、渡辺睦子氏、スザンヌ・オクセナー氏らにインタビューを行う。また、2026 年 2 月～3 月に現地を訪問して追加調査を実施する。 (2) 今回、インタビューができなかった自主経営を実践する企業（オランダ、ポーランド、ポルトガル）に、オンラインあるいは対面（2026 年 2 月～3 月）でインタビューを行う。また、コーポレイトレーベル社に、自主経営を行う企業を紹介してもらい、研究範囲を拡大する。